

Leaders
in Trusted
Technologies

NISSHA

2025年12月期
決算説明会

2026年2月12日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 最高経営責任者

鈴木順也

本日の説明項目

- 2025年 実績
- 2026年 計画
- 事業ポートフォリオの強化

2025年 実績

ハイライト

2025年12月期の実績

● Tailwinds

- 産業資材：加飾分野の需要が堅調、Q3からモビリティ新製品（外装機能部品）の量産を開始
- デバイス：工場集約の効果により減収インパクトを軽減、減収増益
- メディカルテクノロジー：医療機器CDMOの需要は底堅く推移
- 医薬品CDMO：滋賀県製薬（一般用医薬品CDMO、2025年1月買収）が業績貢献、過去最高益、増産投資（デバイス津工場の転用・再稼働）を決定

● Headwinds

- 産業資材：モビリティ新製品（外装機能部品）の先行費用が利益を圧迫
- メディカルテクノロジー：自社ブランドの収益性が悪化、Q4に一過性費用を計上
- 医薬品CDMO：津工場の転用・再稼働に向けた津工場旧設備の減損損失を計上

2026年12月期（通期）の見通し

- 減収増益
- 売上高1,915億円、営業利益66億円、親会社の所有者に帰属する当期利益23億円
- 【デバイス】医療機器メーカーUSM Healthcare（ベトナム）を買収、業績連結（3月～）
- 想定為替レート：145円/USD

2025年12月期（通期）の実績

(百万円)

	2024 実績	2025 前回予想	2025 実績	2025	
				前年同期比	前回予想比
売上高	195,598	191,300	194,898	▲ 0.4%	+1.9%
産業資材	74,090	74,300	76,315	+3.0%	+2.7%
デバイス	67,542	58,000	58,452	▲ 13.5%	+0.8%
メディカルテクノロジー	45,622	46,000	47,130	+3.3%	+2.5%
その他	8,343	13,000	13,000	+55.8%	+0.0%
うち、医薬品	1,824	7,000	✓ 6,978	+282.6%	▲ 0.3%
営業利益	5,457	3,800	✓ 4,040	▲ 26.0%	+6.3%
営業利益率	2.8%	2.0%	2.1%	-0.7pt	+0.1pt
産業資材	4,871	3,400	✓ 3,741	▲ 23.2%	+10.1%
デバイス	1,798	2,000	✓ 2,130	+18.5%	+6.5%
メディカルテクノロジー	2,388	2,600	✓ 2,035	▲ 14.8%	▲ 21.7%
その他	▲ 731	300	✓ 390	✓ 黒字化	+30.0%
調整額	※1 ▲ 2,869	▲ 4,500	※3 ✓ ▲ 4,258	-	-
税引前利益	※2 6,202	2,200	※4 3,551	▲ 42.7%	+61.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	3,851	0	1,001	▲ 74.0%	-
為替レート（平均）	¥149/\$	¥146/\$	¥148/\$		
為替レート（直前期末→当該期末）	¥142/\$→¥158/\$		¥158/\$→¥157/\$		



※1 為替差益 0.1億円含む

※2 為替差益（金融収益）15.5億円含む

※3 津工場再稼働に伴う旧設備の減損損失▲7億円、為替差損▲1.5億円含む

※4 金融負債の公正価値評価益 7億円、為替差益（金融収益）1億円含む

2025年12月期 Q4 (3カ月) の実績

Leaders in Trusted Technologies

(百万円)

	2024 Q4 実績	2025 Q3 実績	2025 Q4 実績	前年同期比 (2024 Q4比)		前四半期比 (2025 Q3比)	
売上高	47,196	48,221	49,627	+5.1%		+2.9%	
産業資材	18,776	19,504	19,240	+2.5%		▲ 1.4%	
デバイス	14,161	14,074	14,625	+3.3%		+3.9%	
メディカルテクノロジー	11,984	11,588	12,083	+0.8%		+4.3%	
その他	2,274	3,055	3,677	+61.7%		+20.4%	
うち、医薬品	487	1,660	1,890	+240.8%		+13.8%	
営業利益	▲ 446	949	532	黒字化		▲ 43.9%	
営業利益率	-0.9%	2.0%	1.1%	+2.0pt		-0.9pt	
産業資材	977	887	747	▲ 23.6%		▲ 15.8%	
デバイス	▲ 996	369	663	黒字化		+79.8%	
メディカルテクノロジー	549	567	201	▲ 63.4%		▲ 64.5%	
その他	▲ 172	▲ 42	140	黒字化		黒字化	
調整額	※1 ▲ 805	※3 ▲ 832	※5 ▲ 1,220	-		-	
税引前利益	※2 887	※4 1,120	※6 1,337	+50.7%		+19.4%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	▲ 416	484	496	黒字化		+2.4%	
為替レート (平均)	¥148/\$	¥145/\$	¥150/\$				
為替レート (直前期末→当該期末)	¥143/\$→¥158/\$	¥145/\$→¥149/\$	¥149/\$→¥157/\$				

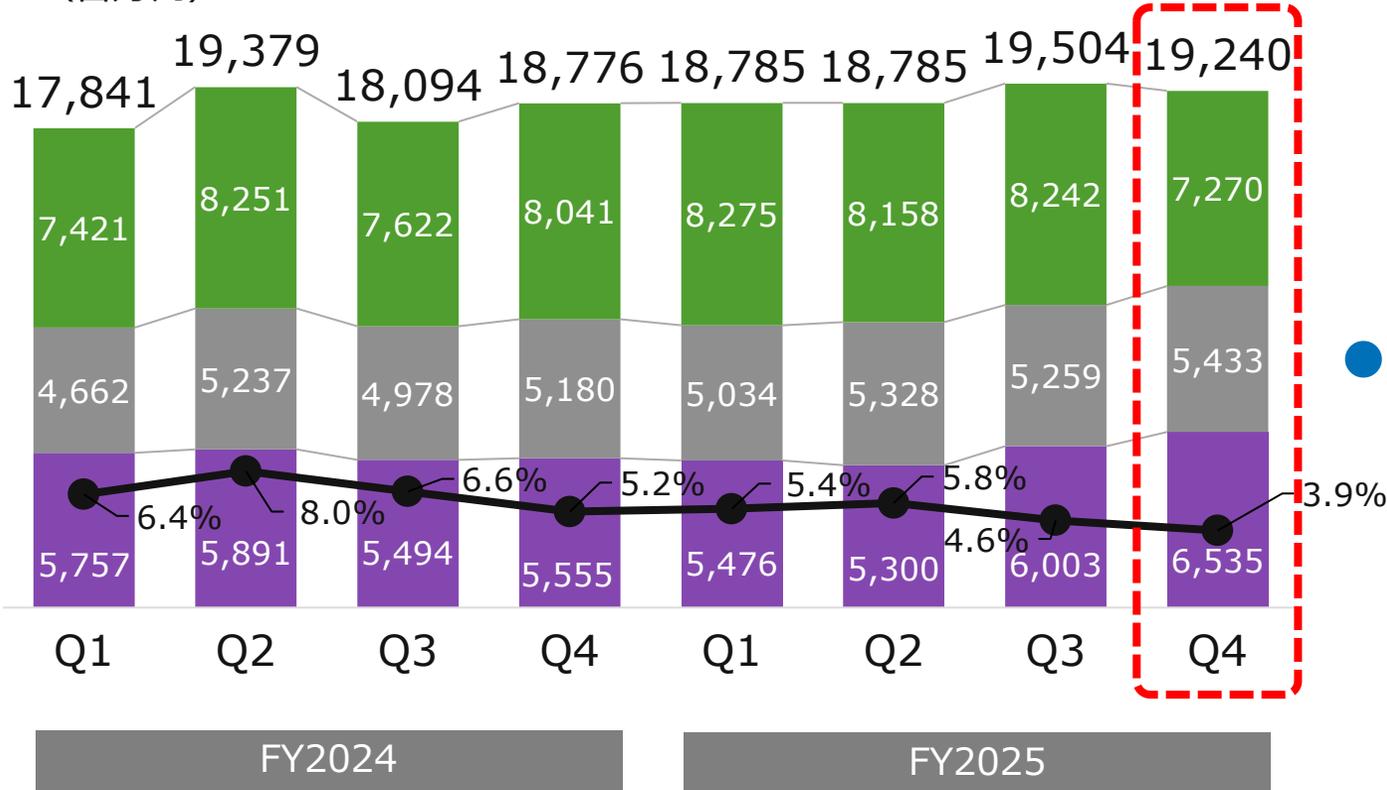
※1 為替差益 1億円含む ※2 為替差益 (金融収益) 16億円含む ※3 為替差益 0.5億円含む ※4 為替差益 (金融収益) 4億円含む

※5 津工場再稼働に伴う旧設備の減損損失▲7億円、為替差益 3億円含む ※6 金融負債の公正価値評価益 6.5億円、為替差益 (金融収益) 5.5億円含む

産業資材：2025Q4（3カ月）実績

四半期別 売上高・営業利益率

■ サステナブル資材（蒸着紙など）
 ■ 加飾（家電その他）
 ■ 加飾（モビリティ）
 ● 営業利益率
 (百万円)



- 売上高 QoQ (為替レート： ¥150/\$)
 - 加飾：モビリティ新製品（外装機能部品）が売上高を押し上げ
 - サステナブル資材（蒸着紙）：Q3への需要前倒しの反動減（想定通り）

- 営業利益 QoQ
 - 加飾の需要増による増益がサステナブル資材（蒸着紙）の需要減影響をカバー

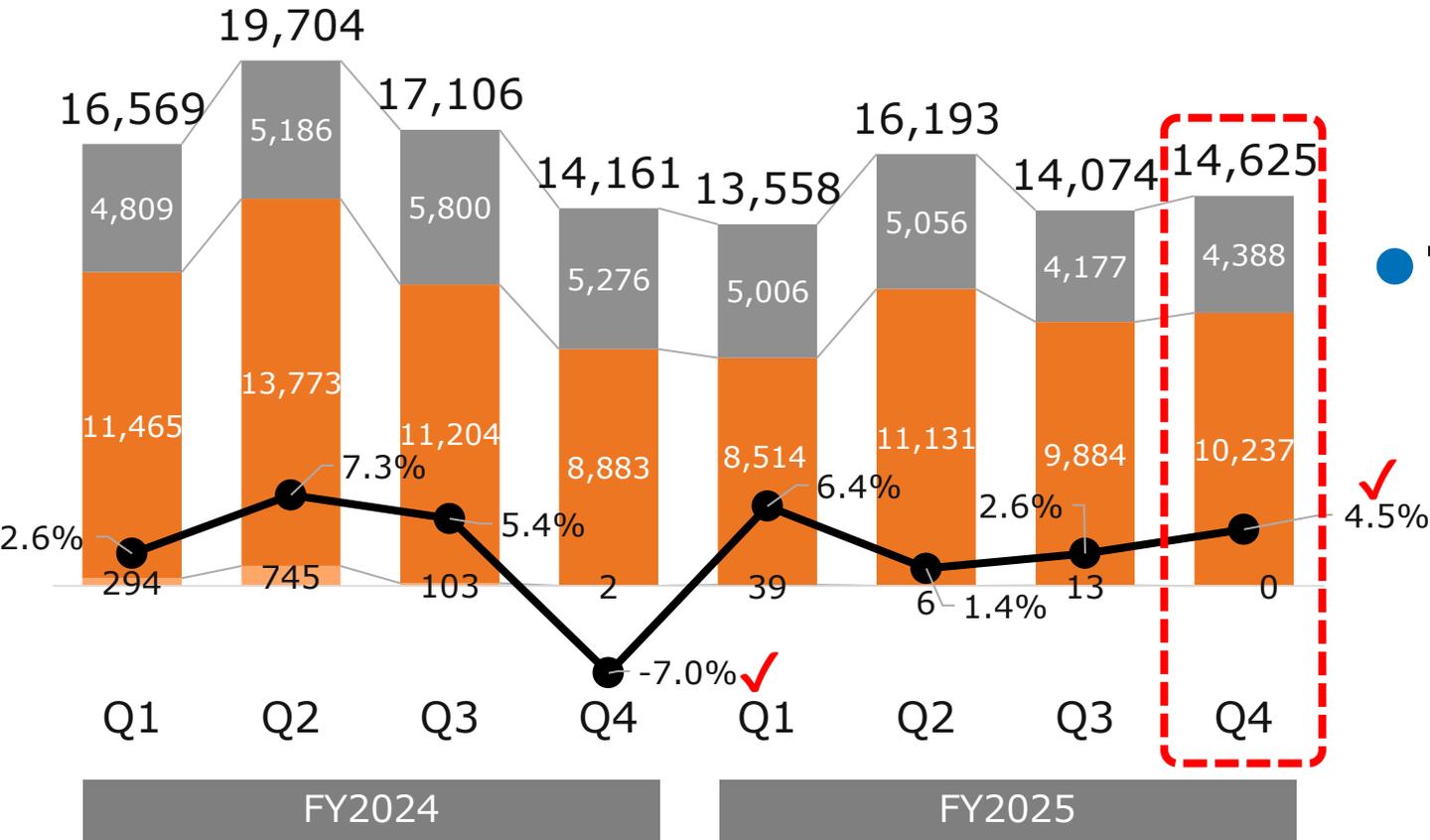
デバイス：2025Q4（3カ月）実績

四半期別 売上高・営業利益率

■ 業務用端末（物流関連）・モビリティ・ゲーム機向け、ガスセンサーなど
 ■ タブレット向け
 ■ スマートフォン向け
 ● 営業利益率
 (百万円)

- 売上高 QoQ (為替レート： ¥150/\$)
 - タブレット： 需要継続
 - その他： 業務用端末の需要が堅調

- 営業利益
 - QoQ： 需要増、タブレットのミックス改善により増益
 - YoY： 工場集約の効果により収益性が改善



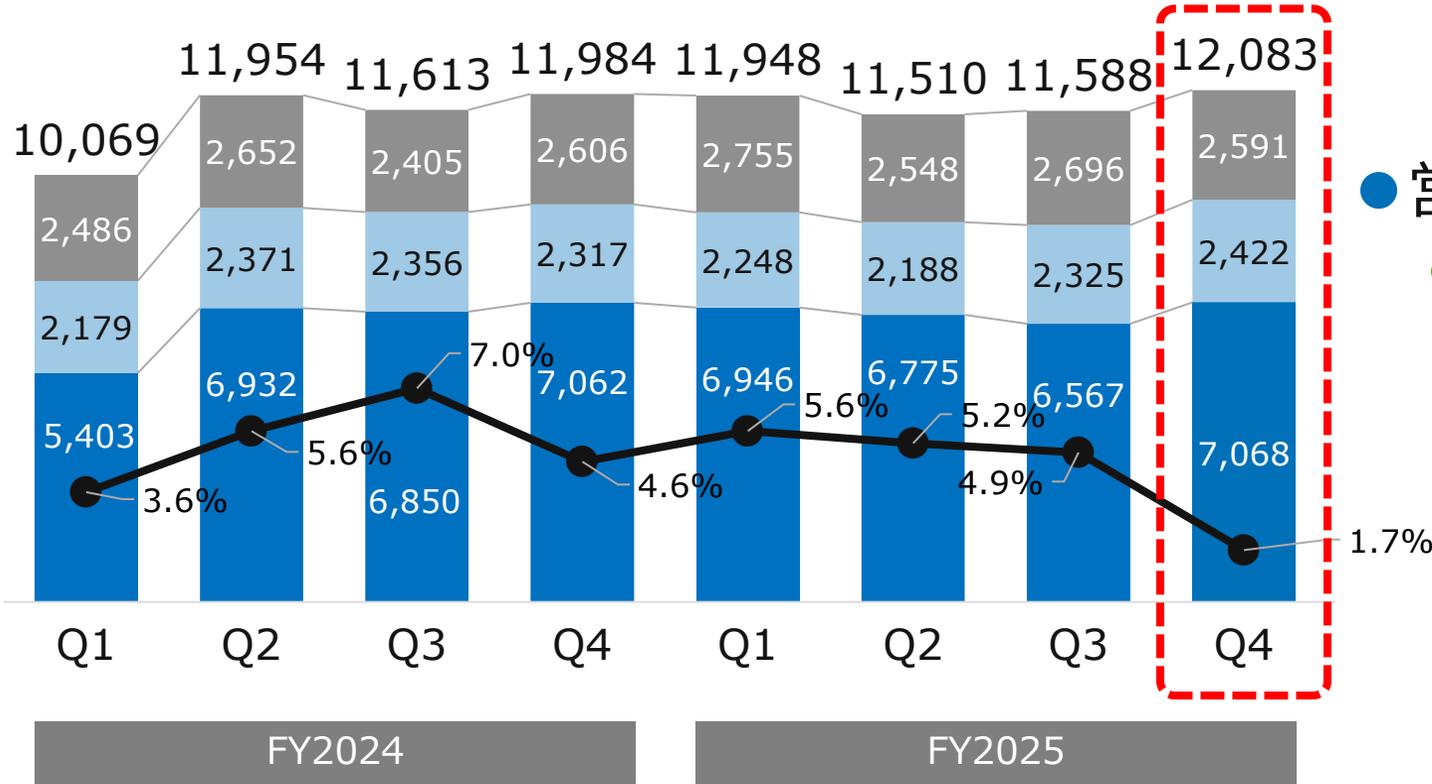
メディカルテクノロジー：2025Q4（3カ月）実績

四半期別 売上高・営業利益率

■ ビジネスメディア
 ■ 医療機器（自社ブランド）
 ■ 医療機器（CDMO）
 (百万円)

● 営業利益率

2025年	Q3実績	Q4実績
為替レート（平均）	¥145/\$	¥150/\$



● 売上高 QoQ (為替レート：¥150/\$)
 ● 医療機器（CDMO）：需要回復

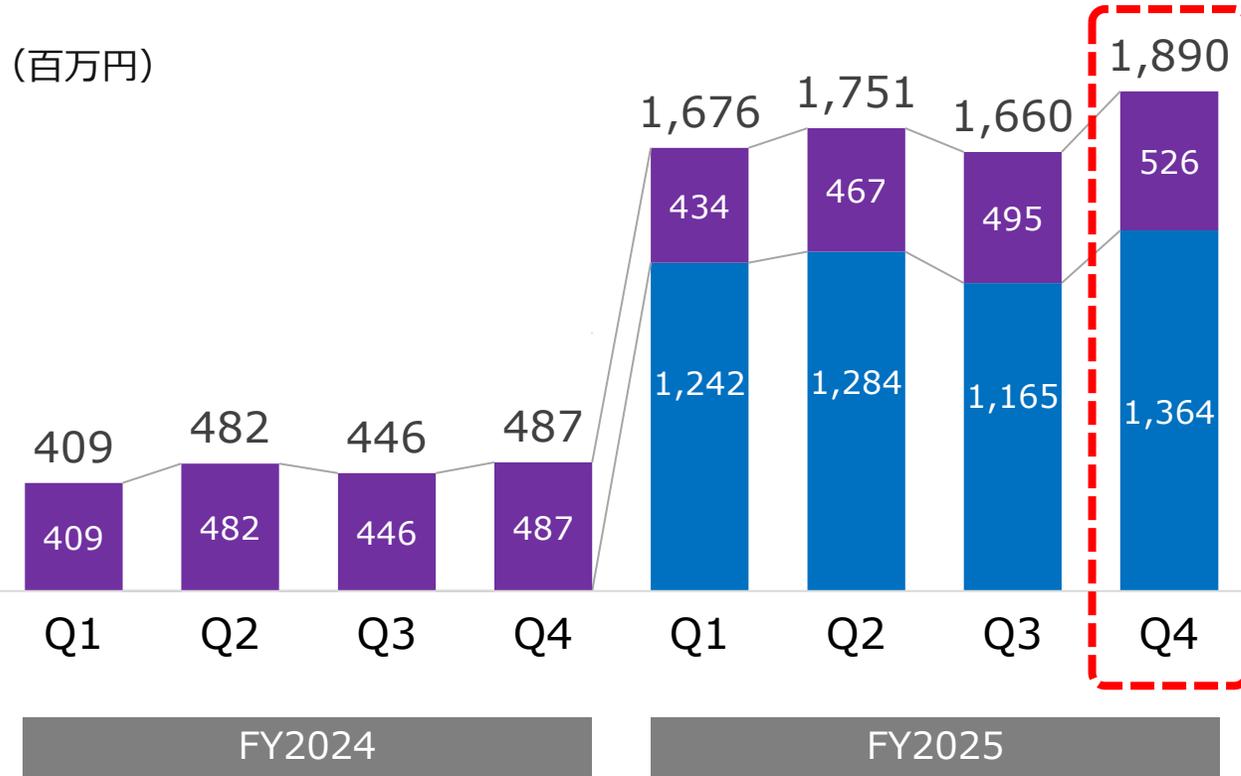
● 営業利益 QoQ
 ● 収益性・効率性改善に向けた一過性費用を計上 ▲4.5億円

医薬品：2025Q4（3カ月）実績

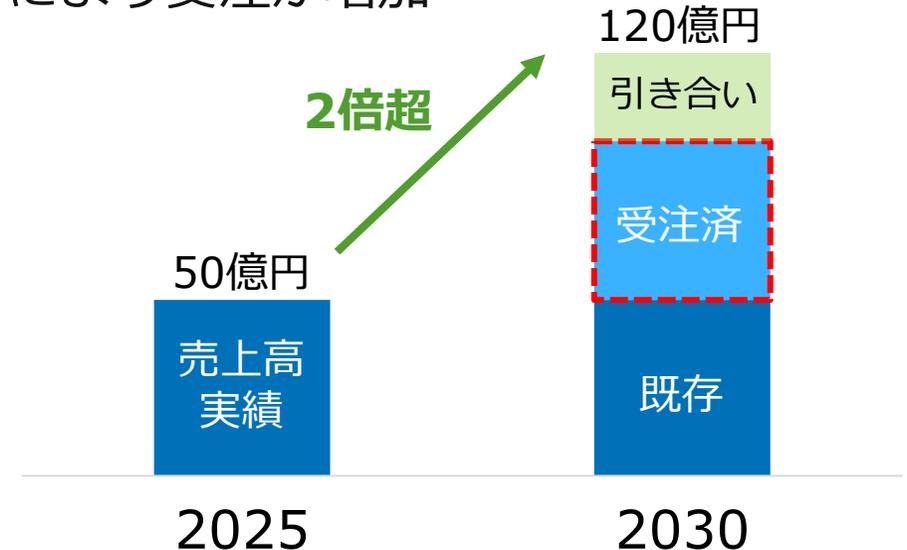
四半期別 売上高

- 医療用医薬品など
- 一般用医薬品CDMO（滋賀県製薬）

(百万円)



- 売上高 QoQ
 - 堅調需要に加え、新規品目を立ち上げ
- 一般用医薬品CDMO：受注案件が拡大
 - 増産決定（ディバイス津工場の転用・再稼働）により受注が増加

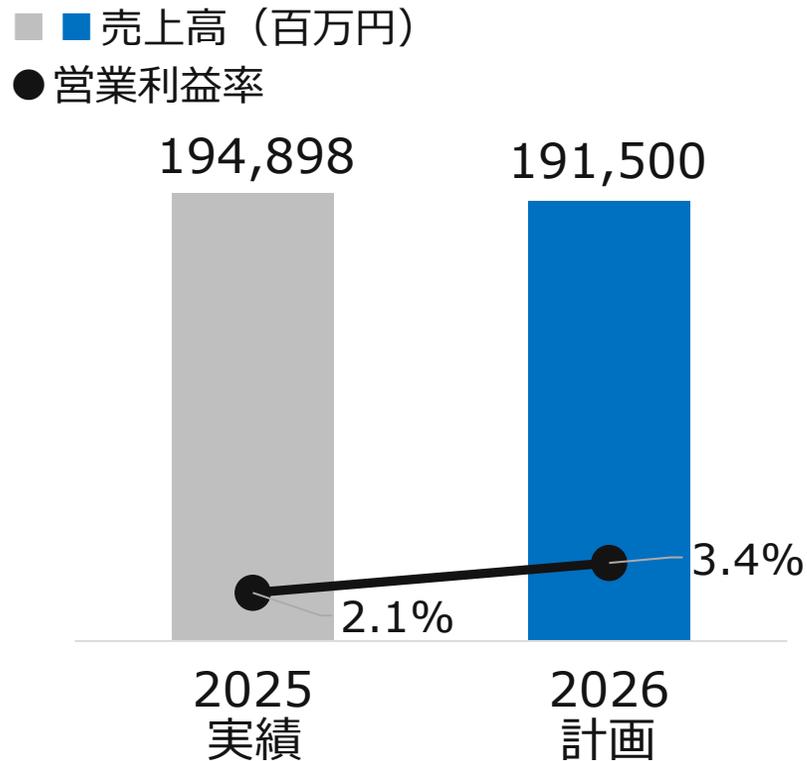


2026年 計画

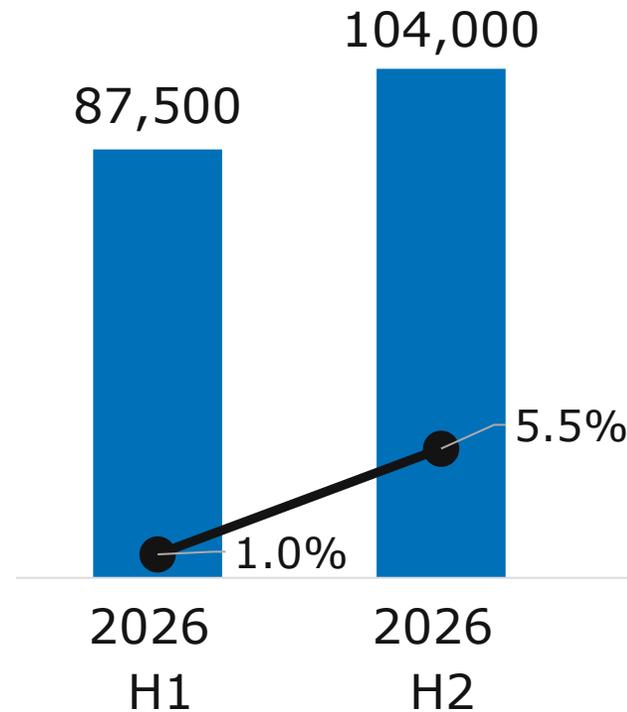
2026年 連結業績計画

- 通期：前年比 減収増益
- 半期：H2に需要増加、営業利益が改善
- 四半期：Q1にデバイスのタブレット需要が低迷、営業損失を想定

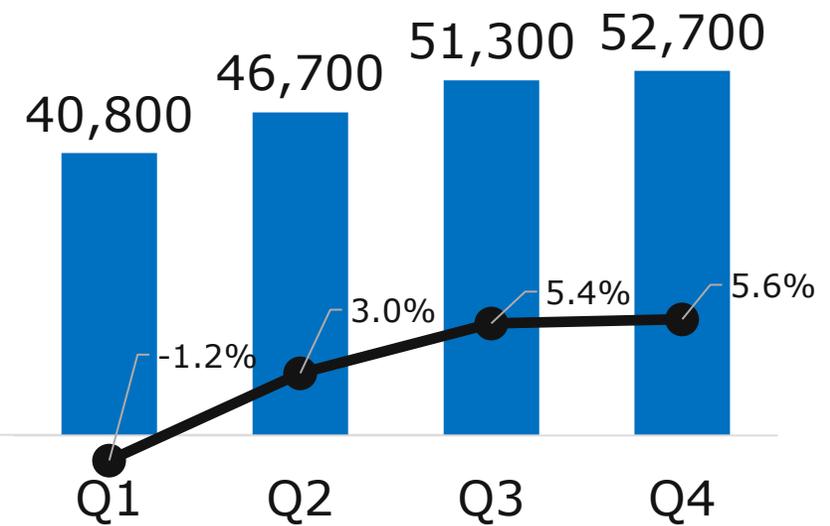
通期



半期



四半期

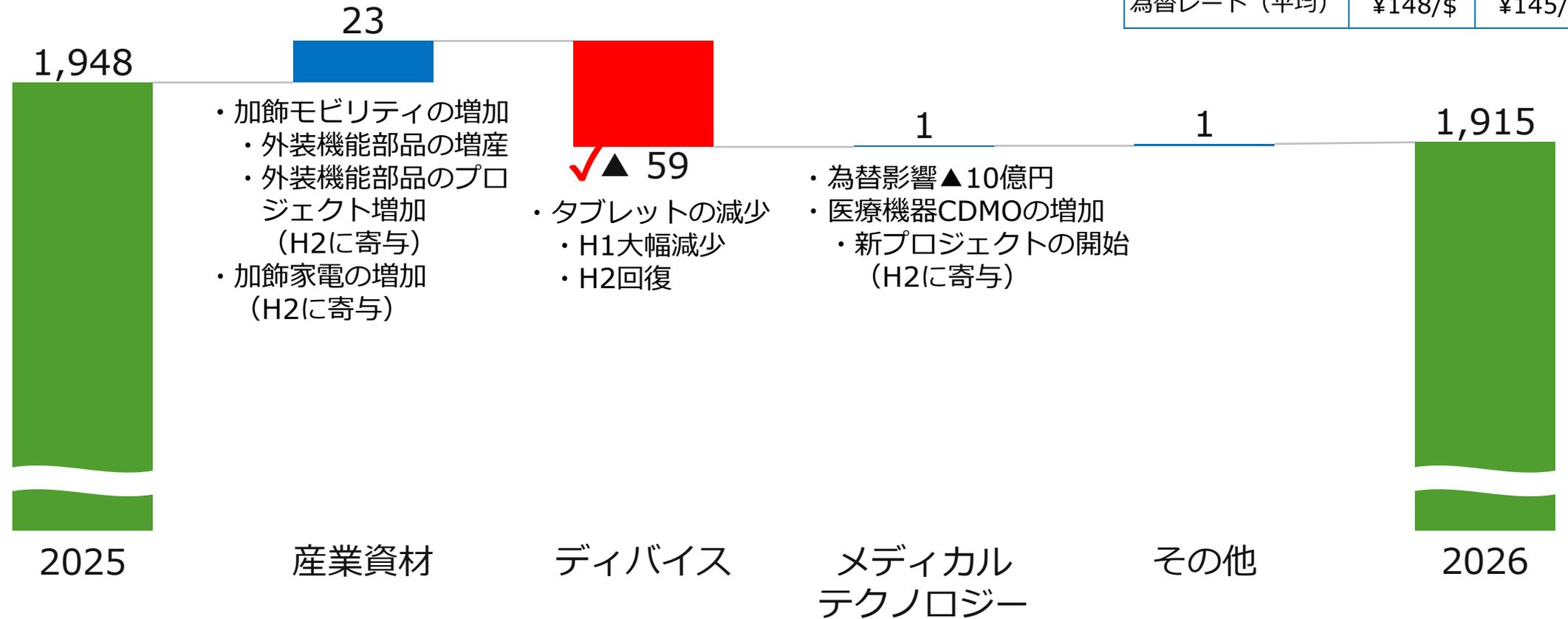


為替レート	¥148/\$	¥145/\$
-------	---------	---------

2026年売上高 増減分析：前年比 減収、H2は回復基調

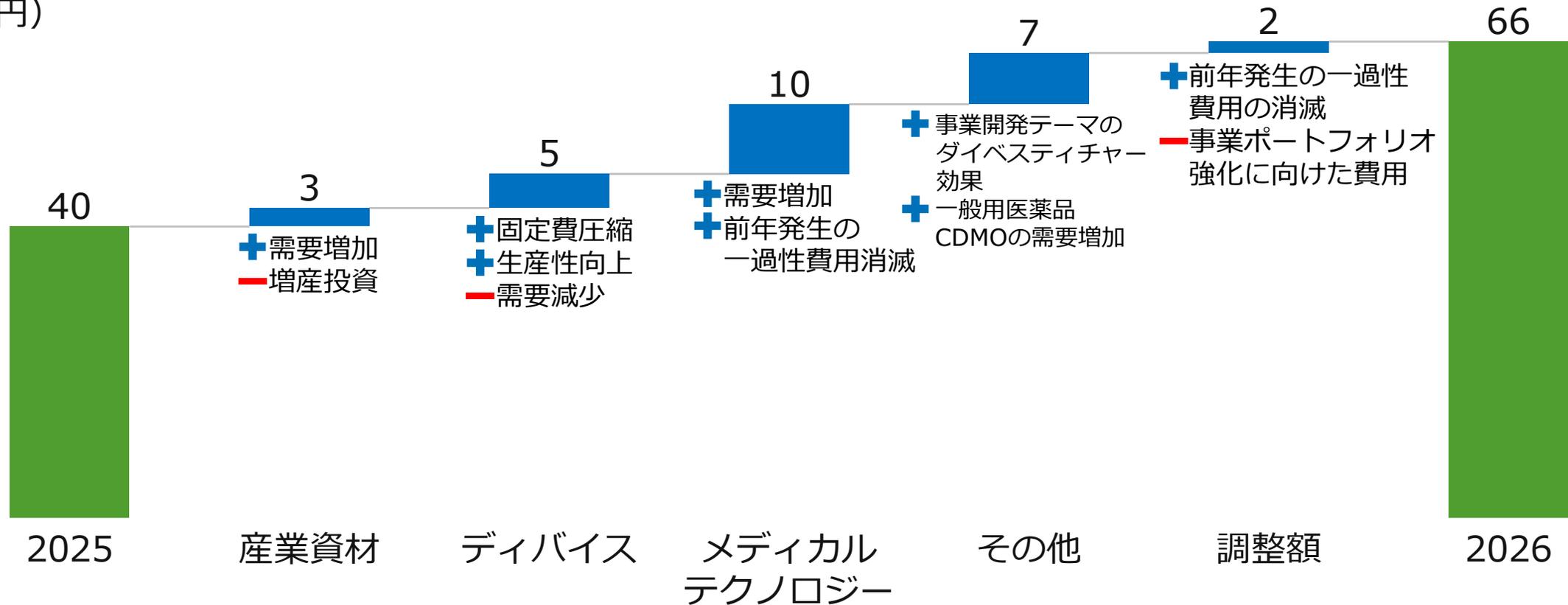
(億円)

	2025年	2026年
為替レート (平均)	¥148/\$	¥145/\$



2026年営業利益 増減分析：前年比 増益

(億円)



2026年12月期 業績計画

(百万円)

	FY2025 通期 実績	FY2025 H1 実績	FY2025 H2 実績	FY2026 通期 計画	FY2026 H1 計画	FY2026 H2 計画	前期比
売上高	194,898	97,049	97,849	191,500	87,500	104,000	▲ 1.7%
産業資材	76,315	37,570	38,745	78,600	37,000	41,600	+3.0%
デバイス	58,452	29,752	28,700	52,600	21,900	30,700	▲ 10.0%
メディカルテクノロジー	47,130	23,459	23,671	47,200	22,700	24,500	+0.1%
その他	13,000	6,267	6,733	13,100	5,900	7,200	+0.8%
うち、医薬品	6,978	3,427	3,551	7,400	3,200	4,200	+6.0%
営業利益	4,040	2,558	1,482	6,600	900	5,700	+63.4%
営業利益率	2.1%	2.6%	1.5%	3.4%	1.0%	5.5%	+1.3pt
産業資材	3,741	2,107	1,634	4,000	1,200	2,800	+6.9%
デバイス	2,130	1,097	1,033	2,600	300	2,300	+22.0%
メディカルテクノロジー	2,035	1,267	768	3,000	1,300	1,700	+47.3%
その他	390	291	99	1,100	400	700	+181.7%
調整額	▲ 4,258	▲ 2,205	▲ 2,053	▲ 4,100	▲ 2,300	▲ 1,800	-
税引前利益	3,551	1,092	2,458	5,000	100	4,900	+40.8%
親会社の所有者に帰属する 当期（中間）利益	1,001	20	981	2,300	▲ 1,100	3,400	+129.6%
為替レート（平均）	¥148/\$	¥149/\$	¥148/\$	¥145/\$	¥145/\$	¥145/\$	

事業ポートフォリオの強化

事業ポートフォリオの強化：分散に規律を効かせる

2010年代

IT機器一本足



環境変化が激しい

2020年代（～現在）

選択と分散により
事業ポートフォリオを構築



選択的な分散により需要変動を抑制するも
事業により優劣が顕在化

2030年へ

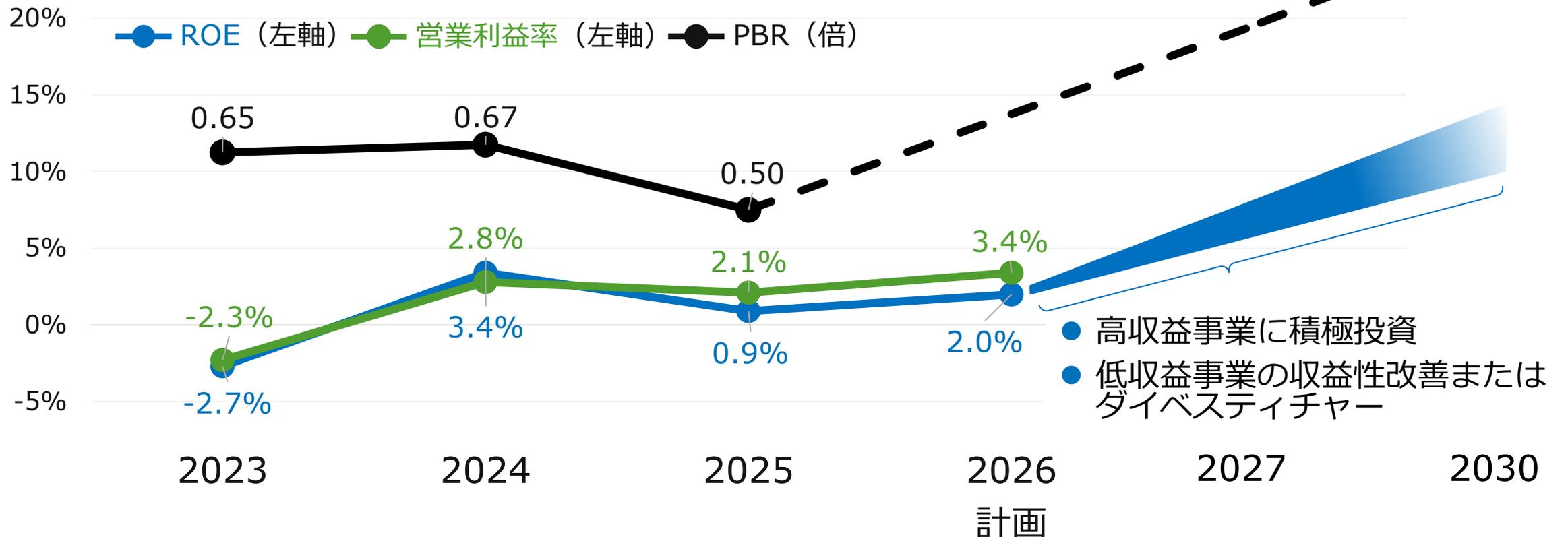
選択と規律ある分散



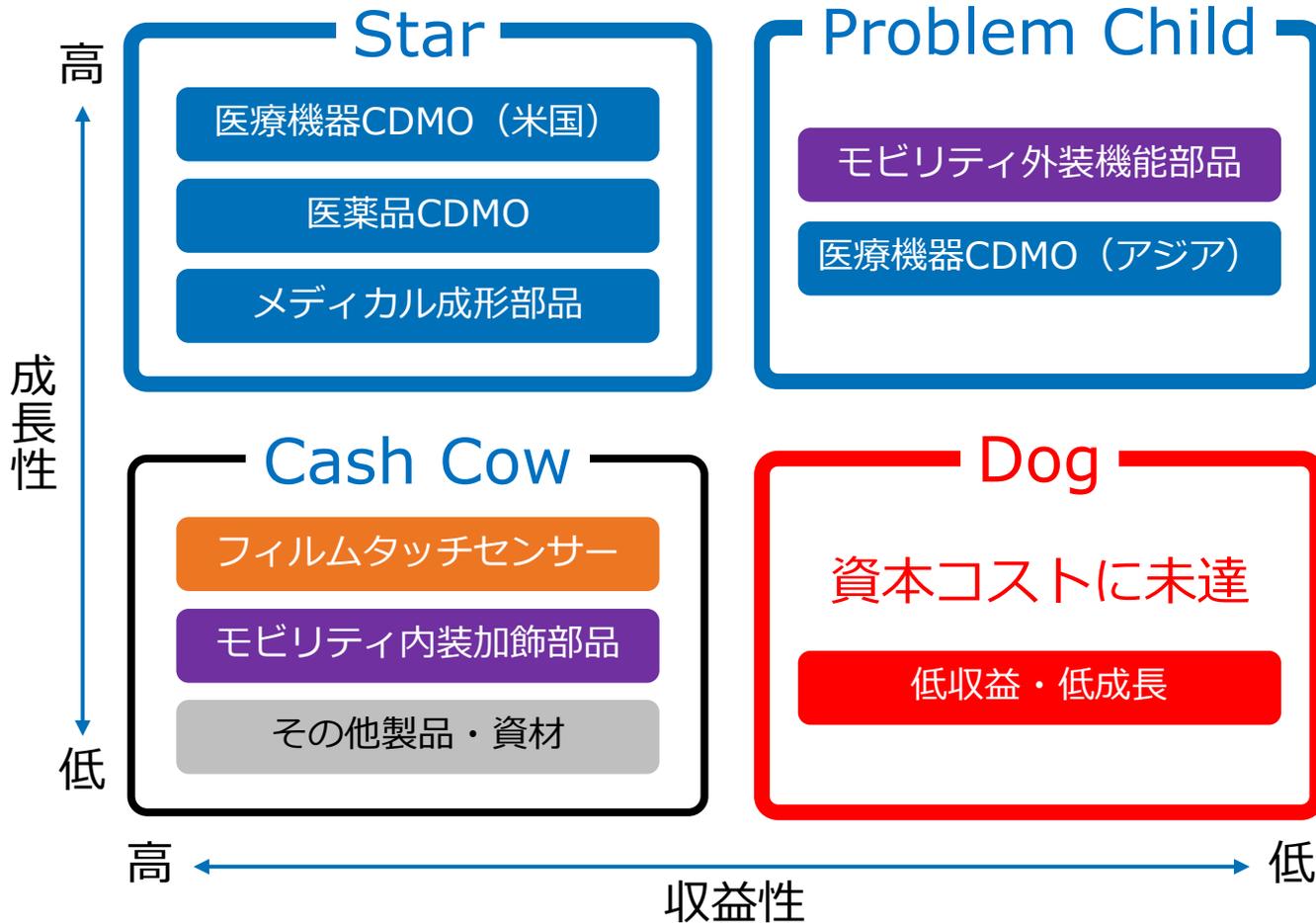
安定した成長が期待できる

営業利益率の改善によりROEを向上

- ROEが低位で推移、株主資本コスト（6-8%※）を下回る
- ROEは営業利益率に連動
- 選択と規律ある分散を通して営業利益率を改善



選択と規律ある分散を徹底、規模拡大より収益性を優先



高収益事業に積極投資

- 全社を挙げてメディカルに取り組む
- USM Healthcare (ベトナム) を買収

収益性改善またはダイブスティチャー

- 利益改善インパクト：
連結営業利益率で1~2ポイント
- 2025年： 2件の事業開発テーマを終了

全社を挙げてメディカル市場に取り組む

医療課題の解決・人々の健康で豊かな生活への貢献

医療機器市場

医薬品市場

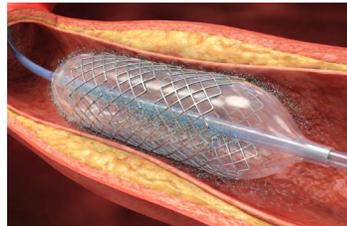
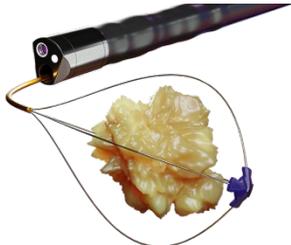
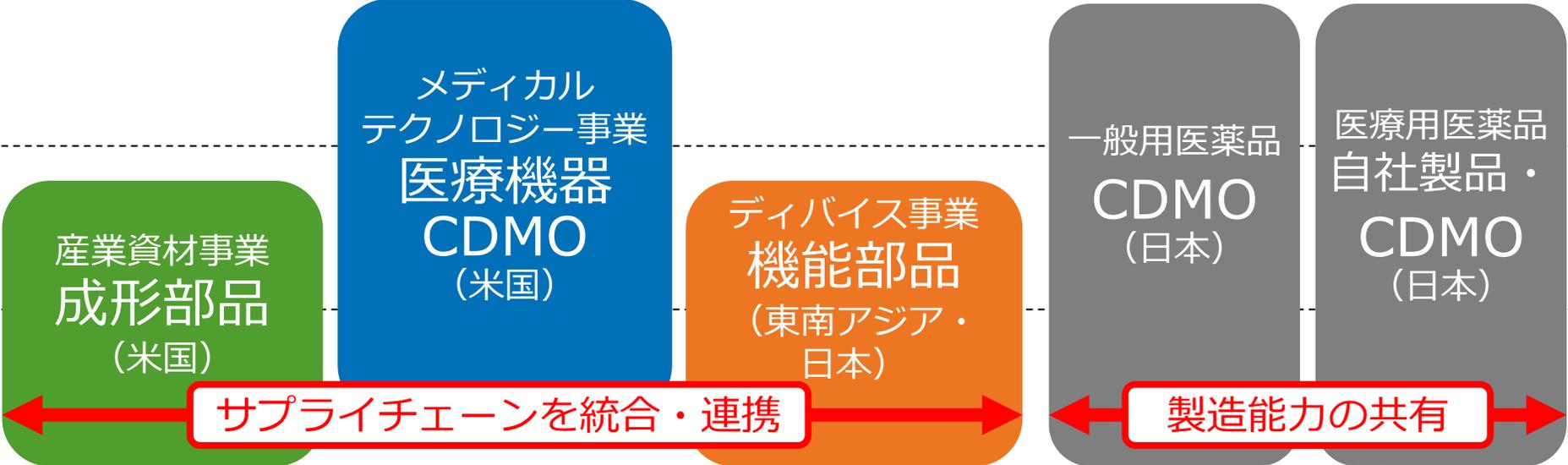
現有資産の高回転

投資拡大ステージ

設計・開発

アッセンブリ

部品



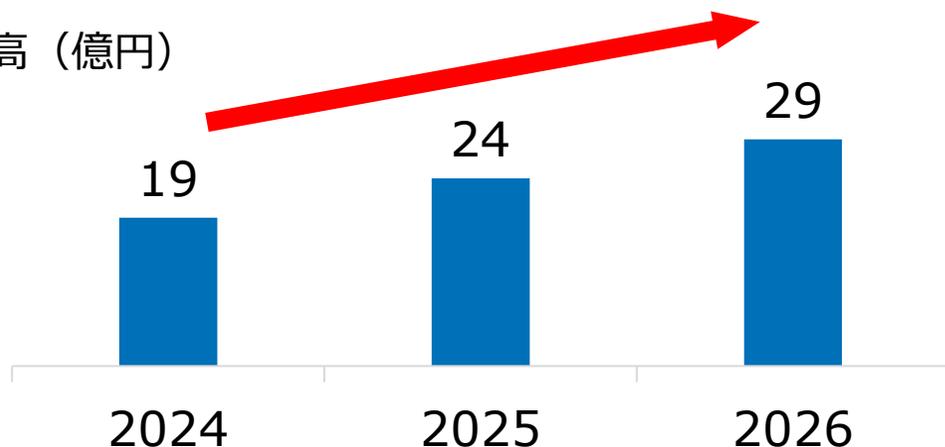
ベトナムの医療機器メーカー-USM Healthcareを買収

- 東南アジアにおける新たな事業基盤を獲得
- ベトナム唯一の国産ステントメーカー
- 同地域で医療機器CDMOを拡大

成長見通し

- 東南アジアの医療機器市場は10%成長
- 国産メーカーとしての優位性を梃子に既存製品を拡大
- アメリカ・日本の顧客基盤、医療機器CDMOの能力と連携

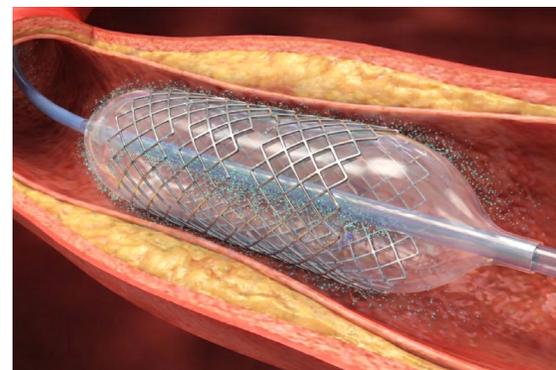
売上高 (億円)



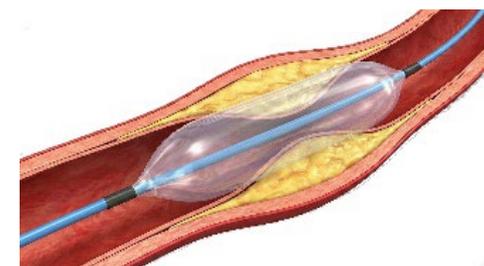
会社名	USM Healthcare Medical Devices
所在地	ベトナム・ホーチミン市
設立	2012年
売上高	4,170億VND (約24億円) (2025年12月期)
EBITDA	890億VND (約5億円)
事業内容	医療機器の製造販売・CDMO



USM Healthcareの製品



薬剤溶出ステント※



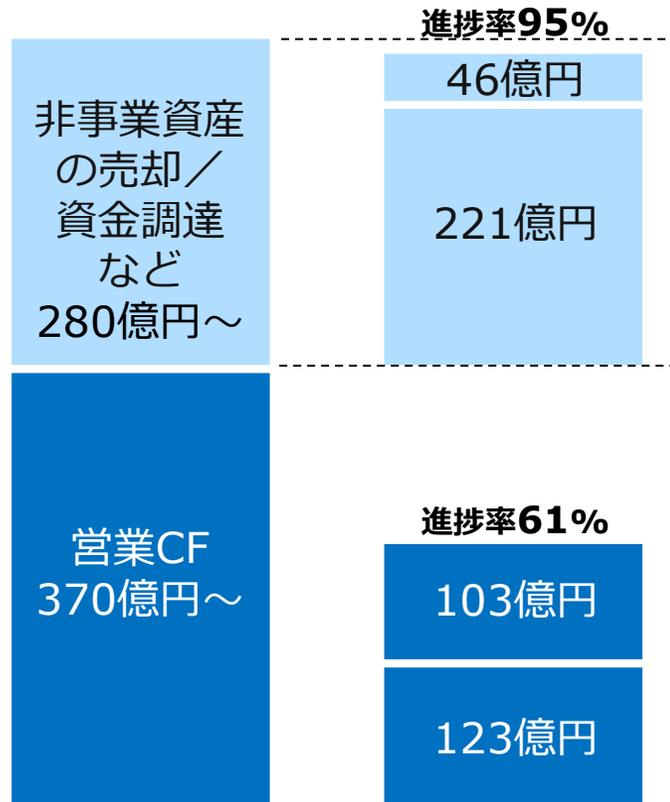
PTCAバルーン※

※ 画像はイメージであり、生成AIを利用して作成したものです。

キャッシュアロケーション（第8次中計2年目の進捗）

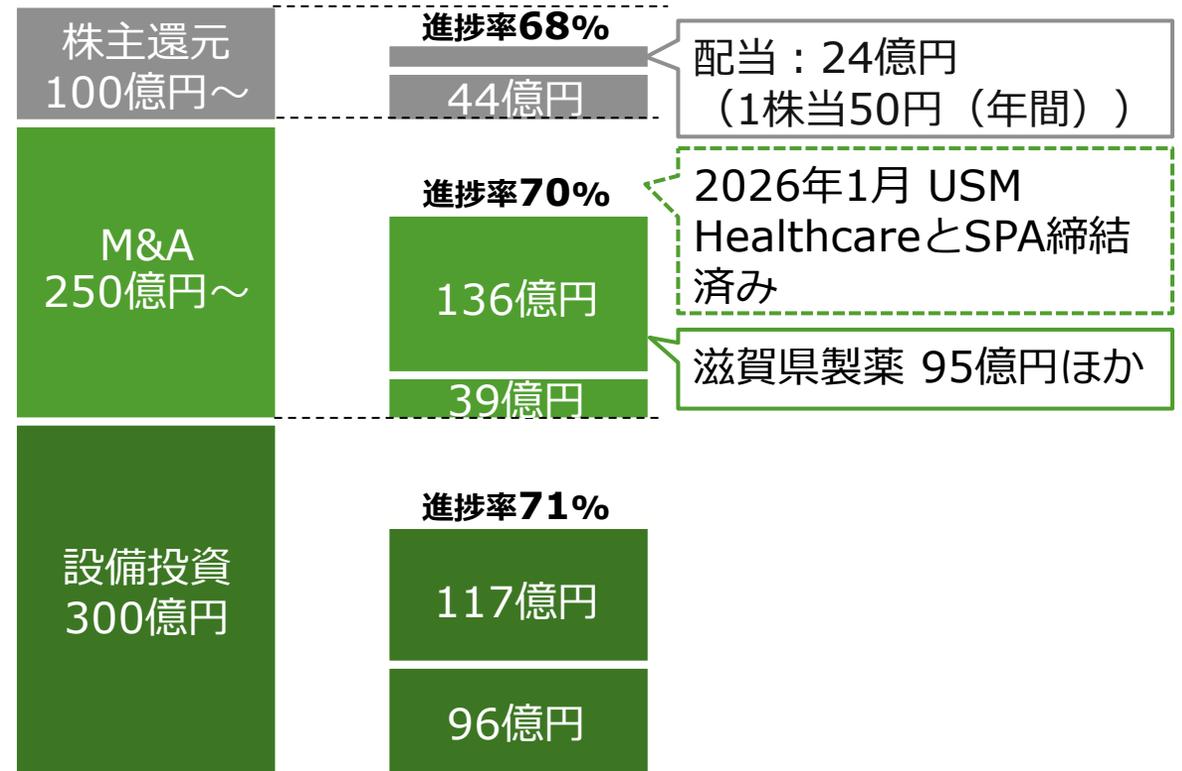
キャッシュイン

2024～2026年 2024・2025年
3年計画 2年実績



キャッシュアウト

2024～2026年 2024・2025年
3年計画 2年実績

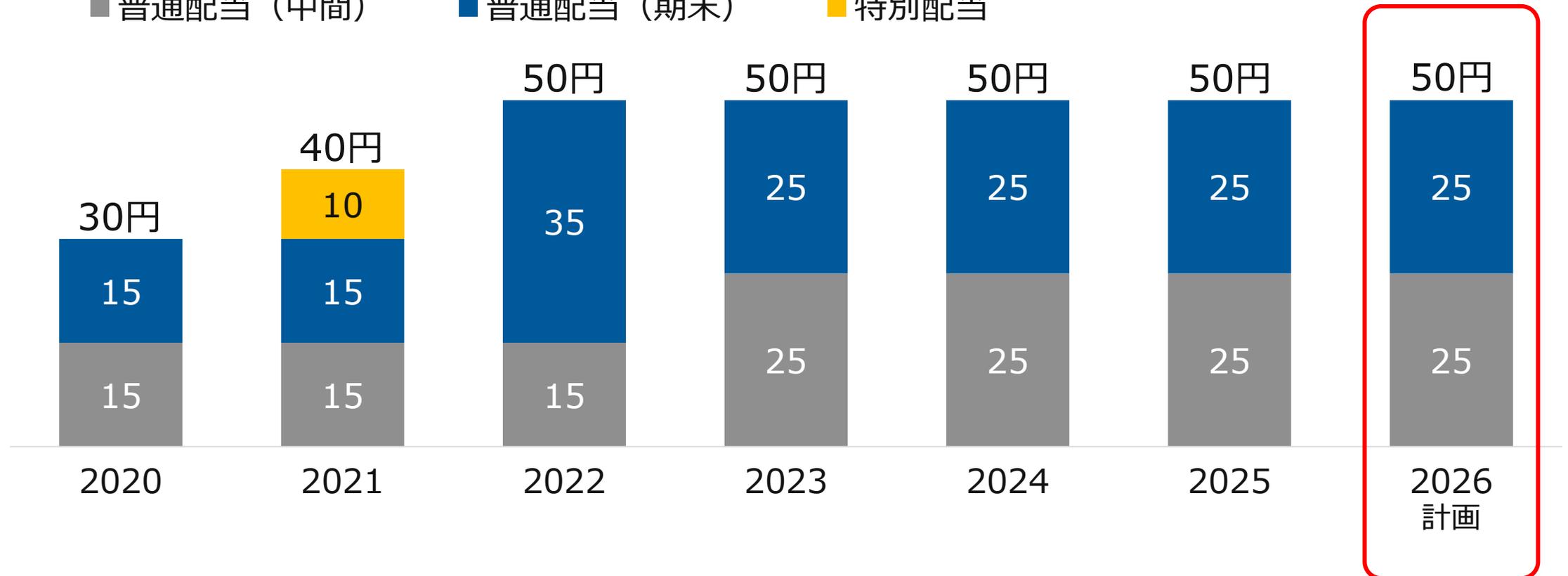


配当

- 中長期の成長を見据え、1株当たりの年間配当金は50円を継続予定

1株当たり年間配当金

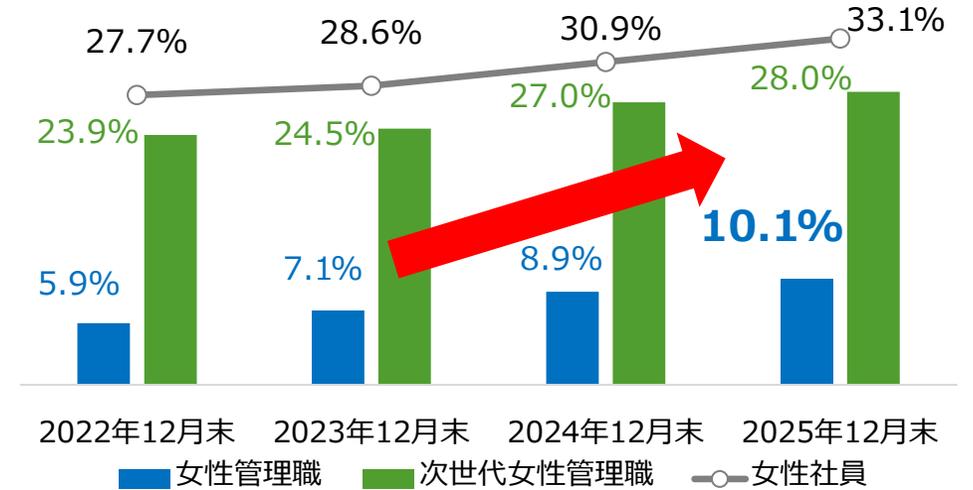
■ 普通配当（中間） ■ 普通配当（期末） ■ 特別配当



ポートフォリオ経営を支える取り組み

多様な人材の活躍

- 女性管理職比率（日本、NISSHA単体）：10%に到達
- 次世代女性管理職：着実に増加

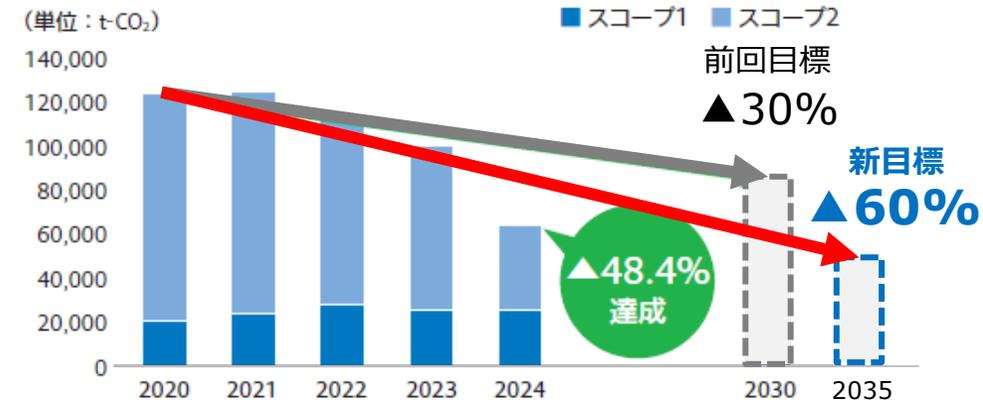


気候変動への対応

- 削減目標▲30%を前倒しで達成
 - 2024年実績：▲48.4%
- 削減目標を改定：2035年に▲60%削減（2020年比）（スコープ1、2）
- CDP
 - 最高評価である「気候変動 A評価」初めて「Aリスト」企業に選定

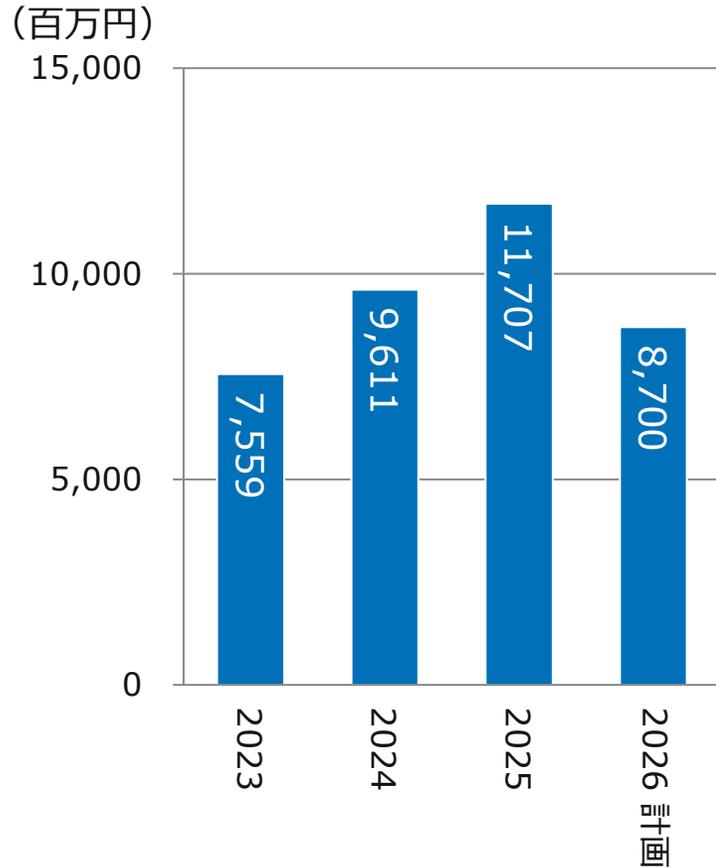


当社のCO₂排出量削減目標と実績(スコープ1,2)

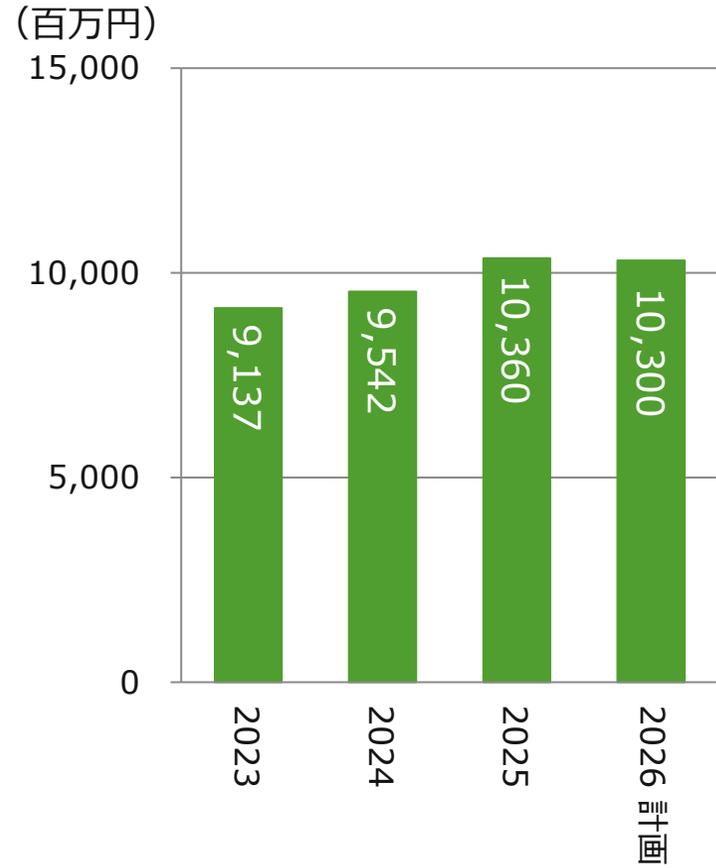


(ご参考) 設備投資・減価償却費及び償却費・研究開発費

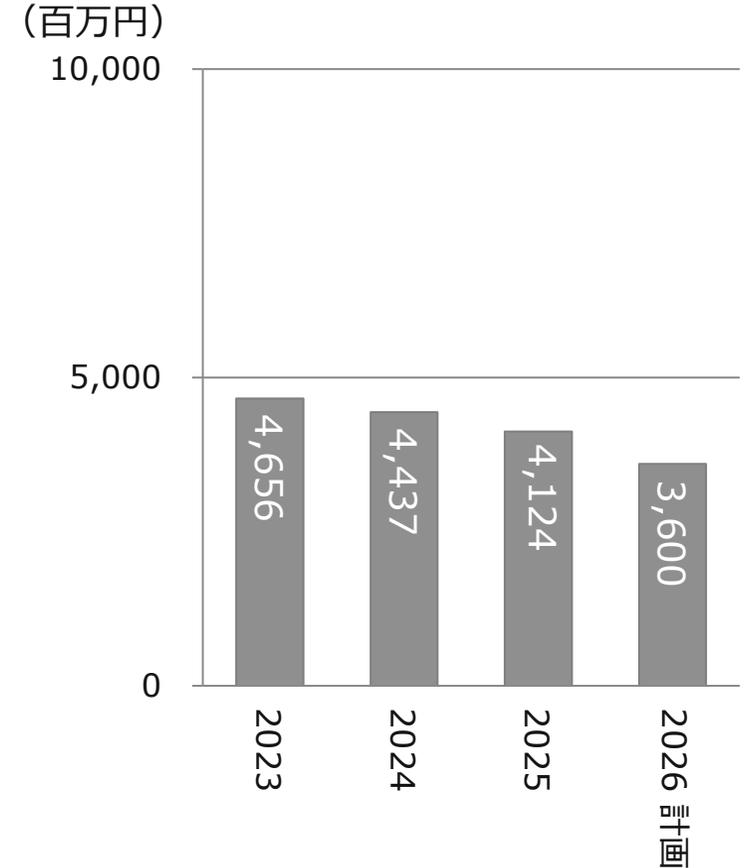
設備投資



減価償却費及び償却費



研究開発費



(ご参考)
 設備投資・減価償却費及び償却費・M&A投資・
 研究開発費（2025年）

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績	第3四半期 (7-9月) 実績	第4四半期 (10-12月) 実績
設備投資	3,033	3,413	2,728	2,532
減価償却費 及び償却費	2,506	2,464	2,689	2,700
M&A投資	9,500	291	0	3,840
研究開発費	1,034	1,051	1,033	1,005

(ご参考) ESGに対する当社の外部評価

● ESG評価機関

- MSCI ESG Ratings 「AA」 評価



● 指数・インデックス

- GPIFが採用するESG 6指数のうち4指数に採用

- FTSE JPX Blossom Japan Index
- FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数



FTSE JPX Blossom Japan Index



FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index



- その他

- SOMPO サステナビリティ・インデックス
- 健康経営優良法人
- くるみん認定

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2025



Somo Sustainability Index



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門



NISSHA株式会社のMSCIインデックスへの組み入れ、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社によるNISSHA株式会社の後援、宣伝、販売促進ではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産であり、MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

Leaders in Trusted Technologies

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。